

4 指標

(1)KPI(重要業績評価指標)

(R=令和)

No.	指標	現状			目標 (R11年度)	出典
		年度	詳細	現状値		
1	「こどもまんなか社会の実現に向かっていると感じる」者の割合 (向かっている+どちらかという向かっている)	R6	就学前児童～ 中高生の保護者、 18～39歳本人	36.6%	70.0%	※1
2	「子育てしやすいまちと思う」 子育て当事者の割合 (よく思う+時々思う)	R6	就学前児童保護者	91.1%	増加	※1
			小学生保護者	88.5%	90%以上	
			中高生保護者	82.6%	90%以上	
3	「子育てを楽しんでいると感じている」 子育て当事者の割合 (非常に感じる+やや感じる)	R5	就学前児童保護者	97.1%	増加	※2
			小学生保護者	94.0%	増加	
			中高生保護者	90.5%	増加	
4	「子育てを支えてくれる人(家族含む)または場所が、いる/ある」 子育て当事者の割合	R6	就学前児童保護者	97.5%	増加	※1
			小学生保護者	96.7%	増加	
			中高生保護者	94.0%	増加	
5	「現在の生活に満足している」 こどもの割合 (満足している+どちらかと言えば満足している)	R5	中高生	83.6%	増加	※2

【出典】 現状値の出典となっているアンケートや調査等

※1 「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」点検・評価のための市民アンケート(令和6年度)

※2 北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査(令和5年度)

(2)その他の主な指標

(R=令和)

No.	指標	現状			目標	出典
		年度	詳細	現状値	(R11 年度)	
【基本施策1】 こどもの主体性を育み、子育てを社会全体で応援する環境づくり						
1	「自分の意見を周りの大人が聞いてくれると感じる」こどもの割合 (きちんと聞いてくれる+どちらかと言えば聞いてくれる)	R5	中高生	84.6%	増加	※2
2	「周りに自分の意見を伝えられていると思う」こどもの割合 (きちんと伝えられている+どちらかと言えば伝えられている)	R5	中高生	72.2%	増加	※2
3	「子育てについて悩みや不安を感じている」子育て当事者の割合 (非常に感じる+やや感じる)	R5	就学前児童保護者	50.4%	減少	※2
			小学生保護者	55.2%	減少	
			中高生保護者	68.8%	減少	
【基本施策2】 魅力的で良質な「こどもまんなか city」の構築						
4	市ホームページ「子育てマップ 北九州」のアクセス件数	R5	月平均	14,996 件	増加	
【基本施策3】 デジタルによる迅速で快適・便利な子育て支援の充実						
5	「こども・子育てに関する情報や手続がデジタル化により便利になっていると感じる」子育て当事者の割合 (そう思う+どちらからといえばそう思う)	R6	就学前児童 ～中高生の保護者	55.3%	増加	※1
【基本施策4】 切れ目のない母子保健・医療体制の確保						
6	妊娠11週までの妊娠届出者の割合	R5	－	93.9%	増加	
7	生後4か月までの乳児家庭訪問の割合	R5	－	97.6%	維持	
8	こどもの健診受診率	R5	4か月児	98.7%	増加	
			1歳6か月児	98.3%	増加	
			3歳児	98.7%	増加	
【基本施策5】 幼児期までの成長を保障する幼児教育・保育の充実						
9	幼児教育・保育施設の満足度 (大変満足+ほぼ満足)	R5	施設・環境	80.5%	90%以上	※2
			教育・保育内容	92.6%	増加	

No.	指標	現状			目標	出典
		年度	詳細	現状値	(R11 年度)	
【基本施策6】 自己肯定感やアイデンティティの形成に向けた育成環境づくり						
10	放課後児童クラブの満足度 (満足+どちらかといえば満足)	R5	施設・環境	89.2%	90%以上	※2
			開所日・開所時間	89.4%	90%以上	
11	こどもが利用する身近な公園の満足度 (とても満足+どちらかといえば満足)	R6	—	53.3%	増加	※1
【基本施策7】 若者の自立や結婚希望者に対する支援						
12	「一人の人間として尊重されていると感じる」若者の割合 (そう思う+どちらかといえばそう思う)	R6	18～39歳 本人	76.4%	増加	※1
【基本施策8】 社会的養護が必要なこどもや家庭に対する取組の推進						
13	「児童虐待(疑い含む)を見聞きしたとき、公的機関や施設に連絡する」者の割合	R6	就学前児童～ 中高生の保護者、 18～39歳本人	75.2%	78.6%	※1
14	児童虐待による死亡事案の発生件数	R5	—	0件	0 件	
15	里親・ファミリーホーム委託率	R5	3歳未満	13.9%	75.0%	
			3歳以上～就学前	29.7%	75.0%	
			学童期以降	25.0%	50.0%	
16	家計の状態について「やっていける」と回答したひとり親家庭の割合 (十分やっていける+だいたいやっていける)	R3	母子家庭	30.6%	35.0% (R8年度)	※3
			父子家庭	40.7%	46.0% (R8年度)	
【基本施策9】 障害児・医療的ケア児等への支援やインクルージョンの推進						
17	障害のあるこどもを受け入れる保育所の施設数	R6	—	166施設 (全保育所)	維持	
18	障害のあるこどもの受け入れに取り組む幼稚園(サポート園)の施設数	R5	—	30園	増加	
19	医療的ケアが必要なこどもの受け入れる保育所の施設数	R6	—	直営3か所	増加	
【基本施策10】 成長に応じたヘルスケアや健全育成に向けた支援						
20	「こどもが健康に成長する環境にあり、多様な体験ができていると感じる」子育て当事者の割合 (そう思う+どちらからといえばそう思う)	R6	就学前児童～ 中高生 の保護者	77.2%	増加	※1
21	子育て支援施設の満足度	R6	子育てふれあい交流プラザ	99.9%	維持	※4
			子どもの館	99.9%	維持	
22	非行者率 (10～19 歳の少年 1000 人あたりの検挙補導人員数)	R5	—	4.6 人	減少	※5

No.	指標	現状			目標	出典
		年度	詳細	現状値	(R11 年度)	
【基本施策11】子育てを支援するシニアや地域人材の育成						
23	「子育てが地域の人に支えられていると感じている」子育て当事者の割合 (とても感じている+どちらかと言えば感じている)	R5	就学前児童保護者	46.8%	50.0%	※2
			小学生保護者	57.7%	65.0%	
			中高生保護者	49.6%	55.0%	
【基本施策12】子育て世代の経済的負担の軽減						
24	子育ての悩みのうち「子育ての経済的な負担が大きい」と回答した割合	R5	就学前児童保護者	26.2%	減少	※2
			小学生保護者	25.3%	減少	
			中高生保護者	46.7%	減少	
【基本施策13】共働き・子育てができる社会づくり						
25	就学前児童保護者が仕事のある日に父親が家事・育児を2時間以上している割合	R5	家事	15.9%	増加	※2
			育児	34.3%	増加	
26	「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が取れている」と思う割合 (調和がとれている+どちらかという調和がとれている)	R6	就学前児童～ 中高生の保護者、 18～39歳本人	62.8%	増加	※1
【基本施策14】DEI(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の推進						
27	母親の就労割合 (フルタイム+フルタイム(休業中)+パート・ アルバイト+パート・アルバイト(休業中))	R5	就学前児童保護者	71.3%	増加	※2
			小学生保護者	78.0%	増加	
			中高生保護者	78.0%	増加	
28	母親のフルタイム就労 (休業中含む)の割合 (フルタイム+フルタイム(休業中))	R5	就学前児童保護者	43.9%	増加	※2
			小学生保護者	40.2%	増加	
			中高生保護者	38.2%	増加	
【基本施策15】若者のチャレンジ支援や人材育成						
29	「北九州市には若者のチャレンジを 応援する社会風土や環境があると 感じる」若者の割合 (そう思う+どちらからといえばそう思う)	R6	18～39歳 本人	27.0%	増加	※1

【出典】現状値の出典となっているアンケートや調査等

- ※1 「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」点検・評価のための市民アンケート(令和6年度)
- ※2 北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査(令和5年度)
- ※3 北九州市ひとり親家庭等実態調査(令和3年度)
- ※4 指定管理者利用者アンケート
- ※5 福岡県警察データ

＜指標に採用しているその他のアンケート調査結果＞

※1…「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」点検・評価のための市民アンケート(令和6年度)

※2…北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査(令和5年度)

※3…北九州市ひとり親家庭等実態調査(令和3年度)

■「子どもまんなか社会の実現に向かっていていると感じる」者の割合 (※1)

(N=2117)	向かっている	どちらかという うと向かっている	どちらかという うと向かっていない	向かっていない	わからない	無回答
就学前児童～ 中高生の保護者、 18～39歳本人	4.4%	32.2%	12.0%	9.7%	40.3%	1.3%

■「子育てしやすいまちと思う」子育て当事者の割合 (※1)

	よく思う	時々思う	思わない	無回答
就学前児童保護者 (N=1081)	36.9%	54.2%	8.4%	0.5%
小学生保護者 (N=399)	29.1%	59.4%	10.5%	1.0%
中高生保護者 (N=352)	28.1%	54.5%	13.9%	3.4%

■「子育てを支えてくれる人(家族含む)または場所が、いる/ある」子育て当事者の割合 (※1)

	いる/ある	いない/ない	無回答
就学前児童保護者 (N=1081)	97.5%	1.8%	0.7%
小学生保護者 (N=399)	96.7%	2.8%	0.5%
中高生保護者 (N=352)	94.0%	4.8%	1.1%

■「子ども・子育てに関する情報や手続きがデジタル化により便利になっていると感じる」 子育て当事者の割合 (※1)

(N=1832)	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答
就学前児童～ 中高生保護者	18.8%	36.5%	33.7%	6.0%	4.6%	0.4%

■幼児教育・保育施設の満足度 (※2)

	大変満足	ほぼ満足	やや不満	大変不満	無回答
施設・環境 (N=1674)	37.0%	43.5%	8.5%	1.4%	9.6%
教育・保育内容 (N=1674)	51.3%	41.3%	5.7%	0.8%	0.9%

■放課後児童クラブの満足度 (※2)

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	無回答
施設・環境 (N=406)	60.1%	29.1%	8.1%	2.2%	0.5%
開所日・開所時間 (N=406)	72.4%	17.0%	8.4%	1.7%	0.5%

■こどもが利用する身近な公園の満足度（※1）

(N=1587)	とても満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	とても不満	無回答
就学前児童・小学生保護者	11.5%	41.8%	22.7%	19.0%	3.8%	1.2%

■一人の人間として尊重されていると感じる」若者の割合（※1）

(N=285)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
18～39歳本人	38.9%	37.5%	15.8%	2.5%	4.2%	1.1%

■「児童虐待(疑い含む)を見聞きしたとき、公的機関や施設に連絡する」者の割合（※1）

就学前児童～ 中高生の保護者、 18～39歳本人 (N=2117)	①児童相談所全国共通ダイヤル(189)に連絡する。②子ども総合センターに連絡する。③24時間子ども相談ホットラインに連絡する。④役所に連絡する。⑤警察に連絡する。⑥その子どもが通っている保育所・幼稚園・学校等に連絡する。⑦地域の民生委員・児童委員・主任児童委員に連絡する。⑧知り合いに相談する。⑨自分でその子どもまたは保護者に声をかける。⑩とりあえず様子をみる。⑪何もしない。⑫わからない。⑬その他【複数回答】					
	選択肢①～⑦を1つでも選択	75.2%	選択肢①～⑦を選択していない	24.8%		

■家計の状態について「やっていける」と回答したひとり親家庭の割合（※3）

	十分やっていける	だいたいやっていける	時々赤字になる	とても足りない	無回答
母子家庭 (N=1231)	5.7%	24.9%	40.1%	27.9%	1.4%
父子家庭 (N=388)	9.8%	30.9%	36.3%	22.9%	0.0%

■「こどもが健康に成長する環境にあり、多様な体験ができていると感じる」子育て当事者の割合（※1）

(N=1832)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
就学前児童～ 中高生保護者	27.3%	49.9%	17.1%	4.1%	1.2%	0.3%

■「子育てが地域の人に支えられていると感じている」子育て当事者の割合（※2）

	とても感じている	どちらかと言えば感じている	どちらかと言えば感じていない	ほとんど感じていない	どちらともいえない+わからない	無回答
就学前児童保護者 (N=1515)	12.3%	34.5%	12.3%	27.2%	12.6%	1.1%
小学生保護者 (N=1391)	19.0%	38.7%	10.9%	21.0%	9.8%	0.6%
中高生保護者 (N=1181)	10.6%	39.0%	12.4%	24.7%	11.3%	2.0%

■「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が取れている」と思う割合（※1）

(N=2117)	調和がとれている	どちらかという調和がとれている	どちらかという調和がとれていない	調和がとれていない	わからない	無回答
就学前児童～ 中高生の保護者、 18～39歳本人	17.1%	45.7%	16.8%	10.0%	9.6%	0.8%

■「北九州市には若者のチャレンジを応援する社会風土や環境があると感じる」若者の割合（※1）

(N=285)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
18～39歳本人	7.4%	19.6%	41.4%	13.7%	16.8%	1.1%

<用語解説>

【基本施策3】

■DX

Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)の略。最先端のデジタル技術を企業や行政などに広く浸透させることで、人々の暮らしをより便利で豊かなものへと変革すること。

■デジタルネイティブ世代

インターネットやパソコンが当たり前にある環境に生まれ、IT機器に触れながら育ってきた世代のこと。

【基本方針4】

■周産期医療

周産期とは妊娠22週から出生後7日未満のこと。周産期医療とは妊娠、分娩に関わる母体・胎児管理と出生後の新生児管理を主に対象とする医療のこと。

【基本施策5】

■ウェルビーイング

個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること。

【基本施策6】

■スクールカウンセラー

児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する臨床心理士などの「心の専門家」。

■スクールソーシャルワーカー

社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有し、不登校や暴力行為、児童虐待など、問題を抱える児童生徒が置かれた複雑な環境に働きかけ、関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整、学校内におけるチーム体制の構築、支援、保護者・教職員等に対する支援・相談・情報提供等を行う職員。

■フリースクール

不登校のこどもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設。

■サードプレイス

学校でも、家庭でもない、居心地のよい第三の居場所。

■アウトリーチ

積極的に対象者の居る場所に出向いて働きかけること。

【基本施策8】

■パーマネンシー保障

永続的な人間関係や生活の場を保障すること。

■フォスタリング

こどもにとって質の高い里親等養育がなされるために行われる様々な支援。

【基本施策9】

■インクルージョン

障害者が他の者と平等の選択の機会をもって地域社会で生活する平等の権利を有することを認め、障害者がこの権利を享受し、並びに地域社会に包容され、及び参加すること。

【基本施策13】

■ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和のこと。仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。

【基本施策14】

■DEI

Diversity(ダイバーシティ:多様性)、Equity(エクイティ:公平性)、Inclusion(インクルージョン:受容)の3つの頭文字をとった言葉。多様性を受容・包括し、それぞれに公平な機会提供のもとで、お互いに尊重し合いながら成長できる環境づくりを目指した考え方。

【基本施策15】

■キャリア教育

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

(キャリア:人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見いだしていく連なりや積み重ねのこと。)

■アントレプレナーシップ教育

起業家精神(チャレンジ精神、創造性、探究心等)と起業家的資質・能力(情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等)を有する人材を育成する教育のこと。

■STEAM教育

数理教育に創造的教育を加えた教育理念。科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、芸術・リベラルアーツ(Arts)、数学(Mathematics)の頭文字をとったもの。